

## 令和2年度事業計画書

当センターは、水素エネルギー新産業の育成、集積を推進する中核施設の役割を担うものであり、その使命として、企業や研究機関が研究開発する水素関連製品の性能試験の実施を通して、中小・ベンチャー企業等の水素エネルギー新産業への参入を支援していく。

また、公的な水素関連製品研究試験センターとして、水素関連製品の基準化を先導するための試験研究に取り組むほか、国プロジェクトに係る受注試験を通して、水素関連産業の進展に繋がる規制見直しの取組みを支援する。また、水素エネルギーの社会受容性を高めるため、広く水素エネルギーに関する普及、啓発活動を展開していく。

水素社会の実現に向け、国は、昨年9月、「水素・燃料電池戦略ロードマップ」における分野ごとの目標達成のため、具体的な技術開発事項を定めた「水素・燃料電池戦略技術開発戦略」を策定した。これにより、今後、産学官による水素技術開発が加速することが期待される。

また、温暖化対策として脱炭素化への取組みが本格化する中、海外では車両の電動化が進められており、自動車に加え鉄道、船舶、航空機など多くの分野で水素の利活用に向けた開発が加速している。

一方、国内では、東京オリンピック・パラリンピックの大会車両として、500台の燃料電池自動車（FCV）が投入されるほか、聖火台や聖火リレートーチの燃料として水素が使用されることも決定している。また、選手村跡地については、街全体を水素エネルギーで稼働させる「水素タウン」とするなど、水素エネルギーの更なる普及促進が期待される。

このような状況から、自動車関連のみならず、今後より多くの分野で水素エネルギーの普及が期待されることから、これを絶好の機会ととらえ、更なる企業等の研究開発支援、国の規制見直しに寄与する。

### I センター運営・管理

#### 1 評議員会、理事会

財団の適正な運営管理を行うため、評議員会、理事会を開催する。

評議員会 2回（5月、2月）

理事会 4回（5月、11月、1月、3月）

※審議事項案件により開催回数の変更あり。開催月は予定。

## 2 試験研究設備等の整備

精度の高い試験結果を確保するため、試験研究設備を常時最適な状態に保つとともに、機器を取り扱う職員のスキルアップを図る。

- ・ 高圧ガス保安検査の自己実施
- ・ 試験研究機器の自己メンテナンス
- ・ 技術職員の高圧ガス製造保安責任者（国家試験）等資格の取得

## II センター事業

### 1 製品試験事業

#### (1) 企業等からの受注試験

企業等が研究開発する「バルブ」、「センサ」、「流量計」、「燃料電池自動車高圧水素システム部品」、「複合容器」など水素関連製品・部品等の性能・耐久試験を実施する。

試験の実施にあたっては、顧客の多種多様な試験内容に的確に対応し、利用者の信頼を高めることが重要であり、次の点に留意して試験を行う。

- ・ 顧客との十分な試験打合せ
- ・ 試験内容に最適な条件設定や試験方法の提案
- ・ 各試験に適した治具、専用部品の設計及び製作
- ・ 入念な作業計画による安全で確実な試験の実施

#### (2) 国プロジェクト関連の受注試験

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する燃料電池・水素利用関連技術開発プロジェクト参画企業等からの受注試験の実施により、企業等の技術開発を支援するとともに、国の規制見直し等に貢献する。

#### (3) 試験室の安定稼働に向けた取組み

試験装置のトラブル等を未然に防ぐためには、職員の適切な対応が要求される。今後の取組みとしては、引き続き、トラブル事例を反映した高度な知識・技術の習得、適正な稼働状況の監視、使用頻度を考慮した定期的保守点検、消耗部品予備品の確保、復旧時間短縮のための緊急対応等により、試験装置が長期間安定して稼働できる体制を整備していく。

#### (4) 海外からの試験依頼への対応

世界的に水素エネルギー関連の技術開発が促進される中、昨今、当センターにおいては、海外の自動車メーカーからの相談や試験受託が増加しつつある。このグローバル化の流れを踏まえ、当センターにおいても国際的な感覚を持つ人材を育成していくことが急務である。

海外顧客のニーズを的確に把握し、試験業務を円滑に遂行するため、外国語での資料作成はもとより、双方向で円滑にコミュニケーションがとれるよう職員の能力開発を促進し、海外顧客の受入体制整備を図る。

## 2 研究開発事業

### (1) HyTReC 主体研究

九州大学や他の研究機関と共同し、水素関連製品の評価手法(試験法)確立のための研究開発を実施する。

### (2) 共同研究

九州大学や他の研究機関と協力し、具体的な水素関連製品の製品化を目指す企業に対し、共同研究の実施や製品開発アドバイス等を行う。

## 3 研究交流事業

### (1) 技術展への出展

水素エネルギー関連の展示会に出展してセンター事業を広く紹介するとともに、試験相談や商談などを行い、センターの利用促進を図る。

- ・ FC EXPO 2021～第17回国際水素・燃料電池展～（東京：東京ビッグサイト）  
開催時期：令和3年3月3日～5日（予定）

### (2) 施設見学会、講師派遣

水素社会の実現に向けて企業・団体・県民の一層の理解向上を図るため、HyTReC 施設見学会や他機関が実施する講演会等への講師派遣により普及啓発活動を行う。

### (3) 国際標準化の推進活動

水素技術に関する国際標準化機構 ISO/TC197（水素技術）への参画により、水素の製造、貯蔵、輸送等のシステム・装置に関する国際標準化活動に貢献していく。

#### (4) 企業訪問

顧客となる企業（燃料電池自動車・水素ステーション関連企業、規制見直しに関する国プロジェクト事業実施企業 等）に対して営業訪問を行う。